

令和7年度使用教科用図書調査専門委員会 調査研究報告書 観点・着眼点（ 種目名 社会・地図 ）

観 点		着 眼 点
1	学習指導要領との関連	日本の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにするための工夫・配慮の程度はどうか。
		社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力を養うための工夫・配慮の程度はどうか。
		課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、日本の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めるための工夫・配慮の程度はどうか。
2	「コンパスぷらん（第4期名古屋市教育振興基本計画）」との関連	「自分に合ったペースや方法で学ぶ」ことができるような工夫・配慮の程度はどうか。
		「多様な人と学び合う」ための工夫・配慮の程度はどうか。
		「夢中で探究する」ための工夫・配慮の程度はどうか。
3 内 容	(1) 内容の選択	人権の尊重や教育の政治的中立に関する配慮の程度はどうか。
		内容が精選や必要な情報の記載についての程度はどうか。また、読図や作図等の地理的技能を高められるような工夫・配慮の程度はどうか。
	(2) 内容の程度	基礎的・基本的な知識・技能が着実に習得されるような工夫の程度はどうか。
	(3) 内容の構成	補充的な学習や発展的な学習の内容の扱いやすさや分量の適切さはどうか。
4	タブレット端末の活用	タブレット端末を活用して学習の効果を高めるための工夫の程度はどうか。
5	表記・表現及び使用上の便宜等	目次・索引・注・凡例・諸表・資料等の適切さはどうか。
6	印刷・造本等	「ユニバーサルデザイン化の観点から印刷の鮮明度、文字の大きさ、書体、色彩等」、「造本の堅ろうさや体裁」、「再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮」など印刷造本等の工夫の程度はどうか。

令和7年度使用教科用図書 調査専門委員会 調査研究報告書（種目名 社会・地図）

発行者		東京書籍		帝国書院	
観点		評価	特徴	評価	特徴
1	学習指導要領との関連		世界、日本の諸地域に、地域の概観に役立つ共通の資料を配するとともに、歴史的な事実を扱った資料や現代社会の課題に関する資料を配している。	○	世界、日本の諸地域の特色を理解するとともに、歴史的な分野や公民的分野との関連も意識して知識を深めることができる資料を配している。
		○	地図帳の活用を補助する「Bee's eye」で社会の課題を提示し、課題追究に関連した多様な資料を配することで、課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、資料を読み取り活用する力を高めることができるように工夫している。	○	充実した地図、資料図、鳥瞰図、統計を用いて各地域を大観し、地域相互の関連や生活、環境に関する理解を深められるように、地理的な見方・考え方を働かせる視点に基づいた問いや、多面的・多角的に考察できる課題の工夫を重視している。
			祭りや伝統芸能、文化的特徴がある街並みなど、我が国の伝統や文化の資料を配し、自国や他国の文化を尊重する態度を養う工夫がされている。		歴史や文化などの各地域の特色を捉えることのできる資料を豊富に掲載し、より具体的に各地域の特色や文化を尊重することができる工夫がされている。
2	「コンパスぶらん（第4期名古屋市教育局基本計画）」との関連	○	要所に「Bee's eye」の課題を配することで、生徒が自律して考えたり、協働して学んだりすることができる工夫がされている。また、小学校の振り返りや地図帳の活用方法なども分かりやすく示し、自分に合った方法で学習しやすくする工夫がされている。	○	小学校での既習内容の振り返りや各種資料を確認することができるデジタルコンテンツやSDGsとの関連資料など、生徒それぞれが必要とする情報を得ることができる工夫がされている。また、生徒が自律して学べるよう地図帳の使い方なども丁寧に示されている。
			デジタルコンテンツやSDGs関連資料などを活用することで、世界、日本の各地域を身近に捉え、主体的に地域の特色を捉えることができるように工夫されている。	○	修学旅行や校外学習で活用できる資料や都市図、多様な資料へつながる二次元コードが掲載され、仲間と協働して活用することができる工夫がされている。
			多様な地図や資料から、各地域の特色を視覚的に捉えられるような工夫がされており、様々な課題を身近に捉えて探究できるようにしている。		生徒が疑問に感じる内容を、主体的に追究できるような問い、課題が要所に配され、主体的・対話的に探究活動に取り組むことができるようにしている。
3	内容		SDGsや防災・文化・歴史・平和などに関する資料を掲載し、人権について学ぶことができる工夫がされている。		様々な言語や宗教、民族、伝統文化など、人権について学ぶことができる資料が多く掲載されている。
			掲載される内容が精選されている。また、「Bee's eye」で提示される問いや課題について、多様な地図や資料を配することで、各地域の現状や相互の関連性などを捉えることができる工夫がされている。	○	世界、日本の各地域において、地域の姿を具体的に、視覚的に捉えることができる鳥瞰図や絵図が豊富で、自然環境・人口密度・言語・産業別の地域の特色を捉えることができる資料を示している。
			巻頭、巻末に世界地図や日本地図を配し、小学校での既習事項を確認できる工夫がされている。また、地名へのふりがなが主題図、主要な都市名、自然地名などを分かりやすく示している。「Bee's eye」で示される課題の難易度を変えて設定し、基礎的・基本的な知識を習得できるようにしている。		地名の漢字にふりがなが付されていたり、学習上重要な国名や首都名には欧文が付されていたりするなど、学習段階に合わせた工夫や国際化への対応がなされている。重要な地名を太字で示すなど、学習者に分かりやすい対応がされている。
4	タブレット端末の活用		デジタルコンテンツを利用して、地図帳内の関連内容と連携したり、歴史的な分野や公民的分野との関連を視覚的に捉えたりすることで、主体的に追究することができるようにしている。	○	要所に配された「地図で発見！」での問いや、テーマを追究する際の着眼点を示した「主題学習」の提示など、発展的な課題解決学習に主体的に取り組むことができる工夫がなされている。
		○	二次元コードから読み取ることのできるデジタル地球儀や気候景観、統計資料、解説動画などのコンテンツを活用することで教科書との関連を図り、主体的に調べたり、まとめたりすることができる工夫がなされている。	○	要所に数多く配されている二次元コードを利用することで、多様な資料やコンテンツを活用し、タブレット端末を使って学校でも家庭でも主体的に調べたり、まとめたりすることができる工夫がなされている。
			不要な凹凸や飾りをなくした「フラットデザイン」を採用し、学習内容に集中できるよう工夫されている。ほとんどの文字にUDフォントを採用しており、小さい文字も読みとりやすいよう、ゴシック体のふりがなを採用している。		地図帳全体にわたり、可読性の高いUDフォントが使用されている。色覚特性のある生徒でもグラフ等を読み取りやすいよう、カラーユニバーサルデザインに対応した色覚表現を採用している。
5	表記・表現及び使用上の便宜等				
6	印刷・造本等	○	生徒の負担軽減のため、内容を精選し、軽量なつくりとなっているが、糸箒とじて製本しているため、堅牢で長期間の使用に耐えられる仕様になっている。環境に配慮した用紙や植物油インキを使用している。	○	豊富な資料を掲載するために、配置を工夫し、できる限りコンパクトにまとめている。地図を読み取りやすくするために、5色刷りで印刷されている。ページの落丁を防ぐために、糸箒の方法が用いられ、背に寒紙を巻いて強化している。

※ 着眼点ごとに、特に優れている教科書には評価の欄に○をつけています。

令和7年度使用教科用図書 調査専門委員会 調査研究報告書「各教科固有の追加調査事項」（種目名 社会・地図）

発行者 事項	東京書籍		帝国書院	
	評価	特徴	評価	特徴
日本の国土の位置や領域について分かりやすく取り扱っているか		巻末に日本の周辺地図が掲載されており、位置と地形、排他的経済水域などが一目で分かるようまとめられている。また、日本の最東西南北端の島々と日本の抱えている領土問題に関わる島々が写真で掲載されている。 「Bee's eye」や「ジャンプ」の課題に取り組むことで、日本の領域についてより理解を深めることができるよう工夫されている。	○	巻末に日本の周辺地図が掲載されており、位置と地形、排他的経済水域などが一目で分かるようまとめられている。また、最東西南北端の写真と地図や、排他的経済水域の面積が示されており、一目で分かるよう工夫されている。 「地図で発見！」の課題に取り組むことで、日本の領域についてより理解を深めることができるよう編集されている。
自然災害や防災について分かりやすく取り扱っているか		自然災害に見舞われやすい日本の地形と災害との関わりと災害への備えについての資料が掲載されている。また、実際に起こった災害の写真やハザードマップなどが採用され、生徒にとって理解しやすいよう工夫されている。 東北地方のページでは、東日本大震災の発生前・直後・現在の様子を地図や写真で掲載しており、災害の与える影響の大きさが捉えられるよう工夫されている。	○	自然災害に見舞われやすい日本の地形と災害との関わりや災害への備えについての資料が掲載されている。また、過去に実際に起こった災害の被害が地図で分かりやすくまとめられており、生徒にとって理解しやすいよう工夫されている。 さまざまな自然災害が起こるメカニズムや実際の様子、防災への様々な取り組みについて図解されており、一目で捉えられるよう工夫されている。
地図の種類によって面積や距離が異なることについて分かりやすく取り扱っているか	○	巻頭見開きページの中に、ミラー図法の世界全図が掲載されている。さらに、東京からの距離と方位が正しい正距方位図法と面積が正しいメルカトル図法が掲載されていることで、地図の種類により面積や距離が異なることを捉えやすくなるように工夫されている。		巻頭に見開きでミラー図法の世界地図と、東京からの距離と方位が正しい正距方位図法の地図を載せている。また、大きな正距方位図法の地図も掲載されている。複数の図法の地図を載せることで、地図の種類により距離や面積が異なることが捉えやすくなるよう工夫されている。

※ 事項ごとに、特に優れている教科書には評価の欄に○をつけています。